

第三一一回俳都松山俳句ポスト

第三一一回開函

「紅日」主宰 川内 雄二 選

特選三句

魂祭最前列に百寿の座

愛媛県松山市 辻原 雅子

蝉時雨鐘楼堂の地獄絵図

京都府京都市 吉田 美鈴

黒揚羽金剛杖にまとはり来

埼玉県坂戸市 大塚 哲子

入選二十句

(市外)

藪や名札つけられ植物園

北海道旭川市 吉政 文代

秋蟬や土罌の森に風抜ける

愛媛県四国中央市 豊田 耕造

石鎚の鎖見上げる夏の空

福岡県福岡市 堤 裕貴

山法師咲くや古城の三之丸

千葉県千葉市 四條 雅信

青田風総身に受け伊予の旅

大阪府吹田市 笹倉 俊子

湯上がりの風吹き抜けて夏柳

茨城県日立市 小唄 秀樹

夏草やあまたの墓に分け入つて

大阪府大阪市 大西 陽子

眠る子に起こさぬ程の団扇風

大阪府大阪市 馬本みち子

夏空へリフトゆつくり上りゆく

広島県安芸郡府中町 今井洋子

青梅雨や背中ながしてもらひけり

愛媛県四国中央市 井川清子

盆の月臍腑を揺する太鼓の音

岡山県岡山市 有田純子

天守閣鷹舞ひ上がる夏の空

埼玉県鴻巣市 荒井享一

水打って板長白衣引き締り

静岡県浜松市 高山佳己

(市内)

父と子が同じ寝相の熱帯夜

愛媛県松山市 山田真愛

床の間に杖休めけり秋遍路

愛媛県松山市 白石俊二

城山の常盤の松や松手入

愛媛県松山市 篠原 正史

飲むほどに麦茶の氷音を変へ

愛媛県松山市 黒川 達哉

名月を雲の切れ間で眺めたる

愛媛県松山市 北村 まち子

(十五歳以下)

ひらひらと落葉がゆつくり落ちてくる

奈良県桜井市 松下 葵

入道雲城に重なる坂の上

岡山県岡山市 木村 光

伊予灘ものがたり賞

下灘の光あふるる青葉潮

愛媛県西条市 藤田 美由紀

投句総数	一、六四二句
市外	一、三三八句
市内	三〇四句
投句者総数	一、〇八八人
市外	九三九人
市内	一四九人

開函日

令和五年八月三十一日